

# 第4回 国立天文台周辺地域土地利用整備計画 検討委員会 — 説明資料 —

令和7年11月6日



# 1 本日の流れ（合計75分）

## I. 全体説明(約15分)



「前回の振り返り」「グループワークの進め方」等について説明します

## II. グループワーク(約45分)



グループに分かれて、個人の考えを整理しながら、グループで意見やアイデアを出し合います

## III. 全体発表(約15分)



グループワークの成果を各班発表します  
また、全体のまとめを行い、委員長のコメントをいただきます

3回のワークショップを通じて、みなさんの持つおおさわ commons のイメージを配置案(ゾーニング)へ落とし込んでいきます。

## 地域の共有地「おおさわ commons」の在り方、使い方

～地域の人が集まり、利用しやすい共有地にするために～

WS 1

みんなが集う

地域の共有地  
「commons」

ってどんなところ？

WS 2

地域の共有地となる

地域交流スペース  
や機能

ってどんなのだろう

WS 3

本日

WS1・WS2の意見を踏まえた  
配置案へのご意見  
(ゾーニング)

主 機 能

①天文台の「森の学校」

③天文台の森(北側)の次世代への継承

②みんなが集う地域の共有地

④命と暮らしを守る防災拠点

エ リ ア  
方 針第七中エリア

- ・既存の校舎等を活用するエリアです。
- ・施設づくりエリアと一体となった教育環境を整備します。

一 体 的  
利 用施設づくりエリア

- ・「おおさわ commons」の施設をつくるエリアです。
- ・健全な大径木を可能な限り保全します。
- ・周囲に植樹し、自然と調和した施設配置を行います。
- ・七中エリアと一体となった教育環境を整備します。

一 体 的  
利 用緑地保全エリア

- ・まとまった緑を保全するエリアです。
- ・森の中を通る通路を整備します。
- ・国立天文台と管理方法等を協議します。

※緑地保全エリアの保全方策は、国立天文台との協議中です。

おおさわ commons全 体  
イ  
メ  
ー  
ジ

- 市道(拡幅想定)
- ゲート(施設開設時  
間内 解放)
- 物理的デバイス(災  
害時のみ 解放)
- 主な通学動線(敷  
地内通路等)
- 駐車場アクセス動  
線(敷地内通路)
- 保存検討大径木



みんなが集う地域の共有地「コモンズ」で目指したいイメージとして、大きく以下の8つの考え方を出示していただきました。

目指したい  
イメージ1

地域のみんなで交流できる場を持ち、多世代が多様に関われる

目指したい  
イメージ2

多様な子どもの居場所とし、安全で安心してのびのび過ごせる

目指したい  
イメージ3

豊かな自然を手入れし、春夏秋冬を感じられる体験の場へ育てる

目指したい  
イメージ4

開発段階から住民が参加し、場を使うことで、地元愛を育む

目指したい  
イメージ5

日常的な防災拠点で地域がつながり、災害時にも対応できる

目指したい  
イメージ6

医療福祉、行政サービス、相談窓口等で高齢者も子育ても安心できる

目指したい  
イメージ7

天文台を活かした異文化交流・国際交流ができる

目指したい  
イメージ8

屋内外のイベントやスポーツ等多様な地域利用が柔軟にできる

# 5 第3回検討委員会の振り返り（全班統合）

『※』は複数個所で重複したアイデア

## 全体共通・留意点等

地域交流スペースや機能に関するアイデア			全体共通・留意点等	
施設づくりエリア	滞在型図書館+α	屋内	屋外	
	図書館	・寝ころべる、話せる、遊べる図書館（グループワーク可能なスペースを含む） ・子どもが学習できるよう学校図書館と地域図書館を連結	図書館	・屋外での読書スペース
	生涯学習	・生涯学習スペース/成果を発表できる場※1 ・自主学習スペース※2 ・創作物を販売するレンタルスペース/本棚シェア ・高齢者と若者が使うスペースを合わせる	生涯学習	・屋外も含め全体で創作物展示 ・イベントができる屋外ステージ※4
	飲食	・勉強や飲食等長時間滞在できるカフェスペース※3 ・朝食を購入することができる場所※3	未就学児	・未就学児も遊べる屋外空間
	未就学児	・保護者もいられる未就学児スペース（遊び、お話し等） ・児童館的な施設		
特別教室+α	映画	・ミニシアタープロジェクター・映画鑑賞		
	相談	・市役所の相談窓口/子育て・介護の相談所		
	情報	・配信スタジオ/みんなの掲示板		
	音楽	・地域で利用できる貸しスタジオ的な音楽室	生涯学習	・多目的防音室 ・生涯学習スペース/成果を発表できる場※1 ・児童・生徒の作品常設展示スペース ・自主学習スペース※2
	図工	・DIYワークショップができる図工室		
他施設	家庭	・料理教室ができる家庭科室&調理室、子ども食堂		
	ランチ	・昼食が食べられるランチルーム		
	交流	・地域の特色を学べる地域交流室		
	遊び	・雨天時でも遊べるピロティ		
	クラブ	・グラウンドに出やすい地域子どもクラブ	グラウンド	・ボール遊びが可能なグラウンド（地域解放） ・芝生グラウンド
駐車場	プール	・大人も利用できる屋内プール	広場	・みんなの原っぱ広場（多機能で利用） ・健康増進運動スペース ・学校と地域が一緒に作る花壇
	体育館	・キッズルーム付体育館 ・全校生徒が集まれる体育館	花壇	
	その他	・昼から利用できるコミセン機能 ・富士山を望める展望エリア、露天風呂 ・先生向けリフレッシュコーナー ・備蓄倉庫	駐車	・多機能駐車場 ・違法駐輪、盗難対策としての駐輪場の設置
	店舗	・購買の設置※3・ソーラークッカーでつくるカフェ ・ハンドメイドショップ	駐輪	
	催事	・雨天でも催事ができる大屋根スペース		
			■教室配置	
			・特別教室は1階、利用者は屋外からアクセス。普通教室は上階。 ・第七中と新校舎をつなぐ ・職員室は小中全職員が集まれる	
			■グラウンド・広場	
			・グラウンドは朝・夜、休みに開放 ・自由広場にすると夜間の出入りはどうするのか	
			■セキュリティ	
			・子どもの学校エリアと外部利用者が入る交流エリアは分離。 ・地域開放は学校が使用していない時間で子どもと分離。 ・登録利用者をメインに。 ・学校側の負担を減らすためにも、常駐の管理者が必要。情報共有の観点で職員室と近くに配置。 ・ITを活用したセキュリティの導入 ・エリア内外をフェンス等で仕切る ・エリア内全体で聞こえる放送ができる ・セキュリティゲートの設置 ・SOS通報ボタン	
			■交通	
			・住宅エリアを通る駐車場アクセスはなし（自転車はOK） ・雨天時の車いす対応として施設に近いところに駐車場を配置 ・天文台駐車場と兼用などで、駐車場を小さくしたい ・通学動線では、歩行者・自転車を分離 ・車のゲートを最小限に。	

6



地域交流スペースや機能に関するアイデア		全体共通・留意点等
緑地保全エリア	里山ゾーン	■緑地保全エリアの計画づくり・維持管理
		・これから自分たちで考え、スペースも自分たちでつくる
		・開発段階から育み、体験する
		・プロが関わった植栽計画を策定する
		・樹木の維持管理（落木・倒木ないように）
	・花と緑のまち三鷹創造協会とのコラボ	
	散策・観察ゾーン	■防犯対策・夜間時の安全対策
		・見通しのきく明るい森
		・オープンエリアはどこかなど、セキュリティラインを確保
		・夜間照明
・遅い時間でも安全に歩ける監視カメラ		
現状維持ゾーン	・夜間時の防犯対策として、視線の通る動線づくり	
	・暗い森の中を子どもが通るのであれば、通学路は外周を使用すべきではないか	
	・現状維持ゾーンを通り抜けることは通学路として可能なのか	
	第七エリア	
		・第七中にスポーツ機能を集中
		・全天候型の屋内プールで、昇降式にすることで小中学生にも対応
		・自習スペース、中高生の自習場所（未来室）
		・第七中近くにもシティバスのバス停を設置
	その他	・大人の娯楽スペースは他でつくるべき
		・生涯学習・多世代交流・居場所づくりはコモンズ外で
・ペットの入れるエリアを決めておく		
・食堂・売店については、コスモス会館の利用も考えられる。（天文台HPにて確認したところ、食堂・売店は8/8にて閉店済み。）		
・星と森と絵本の家との連携		
・大沢コミセンも水害時も含めた避難所に		

7

グループワークショップ  
ー 本日のテーマ ー

配置案（ゾーニング）への  
意見交換



# 6 第3回検討委員会の意見を踏まえた、今後の検討の方向性（案）

前回の意見は、以下の通り今後の検討の方向性(案)としてとりまとめ、検討を行います。

エリア・ゾーン			第3回検討委員会の意見を踏まえた、今後の検討の方向性(案)
施設づくりエリア (第七中エリアと一体的に検討)	学校	普通教室	普通教室(1～9学年)、教育支援学級(1～9学年)、少人数学級、多目的教室
		特別教室(準備室含む)	理科室、音楽室、図工室、家庭科室、技術科室、美術室
		管理諸室	職員室、校長室、保健室、教育相談室、更衣室等
		体育館・プール・学校図書館	体育館、プール、学校図書館
	図書館等	地域図書館・その他	地域図書館、地域交流スペース、防災倉庫、学童保育所、地域子どもクラブ
グラウンド・広場			グラウンドとして必要な面積・機能及び保存すべき樹木の維持を前提に、グラウンドや広場では学校行事や地域の催事、地域開放時に使用できる <b>屋外ステージ</b> を検討する。
コモンズ駐車場			<b>必要最低限の駐車場</b> とし、日常的な <b>駐車場の出入り口を天文台通りに限定</b> できるか検討する。
緑地保全エリア	里山ゾーン		<b>子どもとともに里山をつくり</b> 、学校と地域で育てる <b>学校農園</b> も検討する。また、多様な地域利用が可能な <b>広場も確保</b> しながら、 <b>防災やモノづくり</b> 等に日常から触れられる場づくりを検討する。
	散策・観察ゾーン		<b>見通しのきく明るい</b> 地域の <b>散歩コース</b> として整備を行い、 <b>読書スペース</b> や <b>ベンチ</b> 、 <b>屋外作品展示</b> 、 <b>地域で利用できる小さなスペース</b> (例えば、フリースペース・チャレンジショップ・地域運営の売店・カフェ)などの配置を検討するとともに、沿道にて <b>生物や植栽等を観察</b> できるよう、検討する。地域開放内の遅い時間でも安全に歩けるよう、 <b>夜間照明の設置</b> に加え、 <b>夜間時の防犯対策</b> を検討する。
	現状維持ゾーン		※現在の自然環境を保つ区域として、一般の立ち入りは想定しないゾーンであるため、検討しない。

## 6 第3回検討委員会の意見を踏まえた、今後の検討の方向性（案）

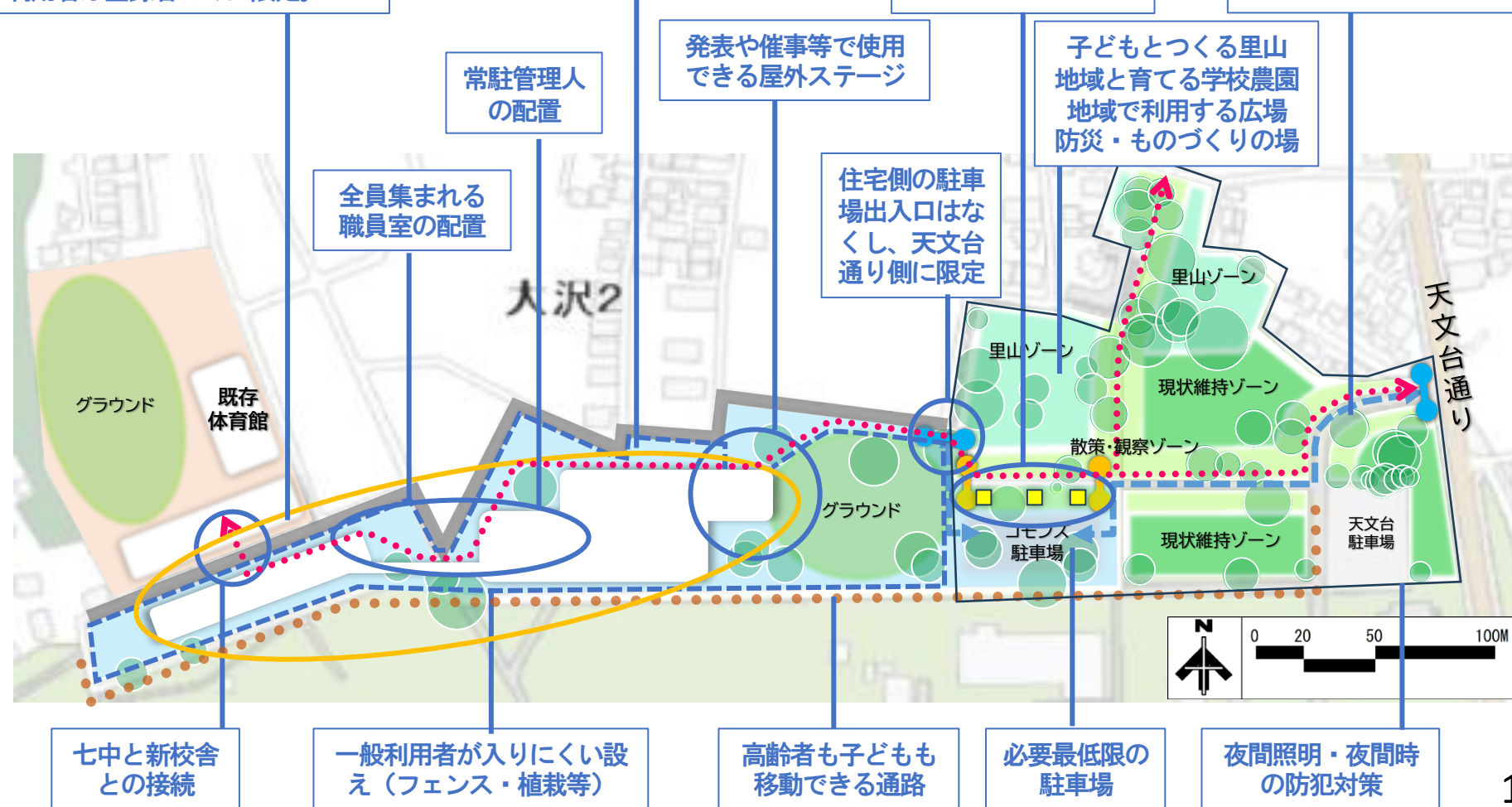
### ■今後の検討マップ

特別教室は滞授業で使っていない時間を中高生の学習スペースや多様な地域利用できるよう、1階に配置し、ICT技術等で空間を分離。利用者は登録者のみに限定。

滞在交流型の図書館』を中心に、多世代の地域交流スペース（カフェ・自習・未就学児・作品展示等）を併設し、学校ゾーンとは空間分離

地域で利用できる小さなスペース（売店・カフェ・チャレンジショップ・フリースペース）

生物や植物などを観察できる散歩コースとして、見通しよく明るく整備し、読書スペースやベンチなどを配置



## 7 ゾーニングパターン検討

主要な機能配置と動線について、前回WSにて多様な意見が出された通り、普通教室エリア、地域図書館+ $\alpha$ 、特別教室+ $\alpha$ の配置により、地域の共有地のあり方も変わります。地域図書館の位置をパターンに、各案の良いところや課題・懸念点などを考えてみましょう。今回いただいた意見は、今後進める配置計画検討での参考とさせていただきます。

### イメージA

#### 地域図書館東側配置



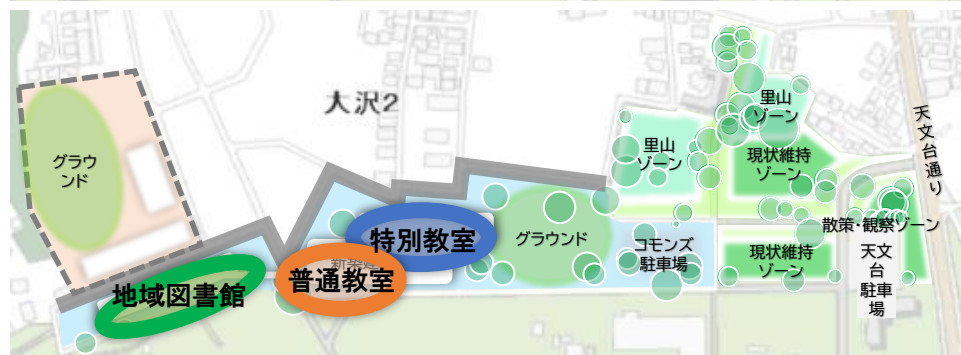
### イメージB

#### 地域図書館中央配置



### イメージC

#### 地域図書館西側配置





# 7 ゾーニングパターン検討

※当該配置案は建築基準法および関係法令等の確認が未実施のため、意見交換用のイメージであり、今後の検討において変更の可能性があります。

## イメージA 地域図書館東側配置

### 1階配置図

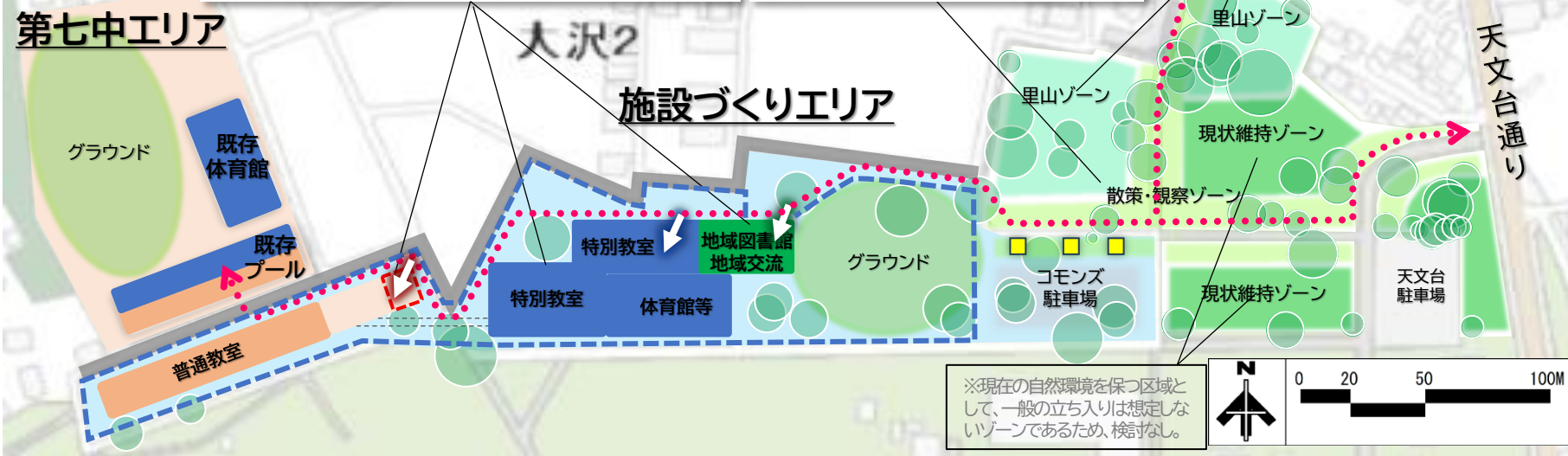
○地域図書館を東側に配置し施設の顔とし、地域に開かれた特別教室を1階に、西側の普通教室エリアとつなぐ  
○天文台通り側からみると、一般利用者→登録利用者→児童・生徒でエントランスが配置

○見通しのきく明るい地域の散歩コース  
○読書スペースやベンチ、屋外作品展示、地域で利用できる小さなスペース  
○沿道にて生物や植栽等 ○夜間照明

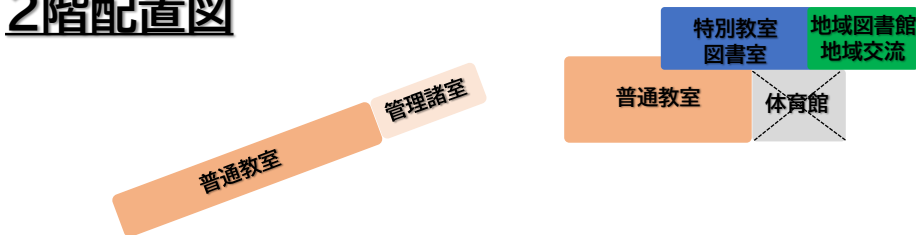
### 緑地保全エリア

○子どもとともにつくる里山  
○学校と地域で育てる学校農園  
○多様な地域利用が可能な広場  
○防災やモノづくり等に日常から触れられる場づくり

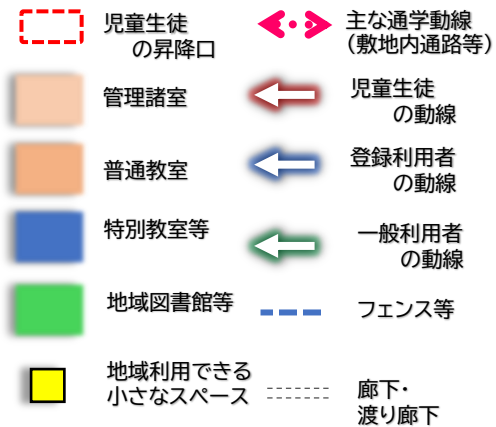
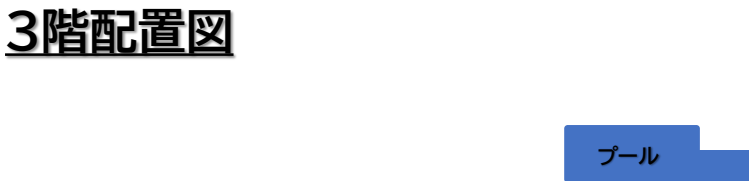
### 第七中エリア



### 2階配置図



### 3階配置図



## 1階配置図

## 第七中エリア

## 緑地保全エリア

## 施設づくりエリア

グラウンド

既存  
體育館

既存  
プール

管理諸室

特別教室

管理諸室

プール

普通教室

普通  
教室

普通教室

體育

児童生徒  
の昇降口


管理諸室

普通教室

特別教室等

地域図書館等

地域利用できる  
小さなスペース

 主な通学動線  
(敷地内通路等)

← 児童生徒  
の動線

登録利用者  
の動線

← 一般利用者の動線

フェンス等

----- 廊下・  
----- 渡り廊下

※現在の自然環境を保つ区域として、一般の立ち入りは想定しないゾーンであるため、検討なし。

Response	Percentage
Yes	20
No	80

## 2階配置図

### 3階配置図

# 7 ゾーニングパターン検討

※当該配置案は建築基準法および関係法令等の確認が未実施のため、意見交換用のイメージであり、今後の検討において変更の可能性あります。

## イメージC

## 地域図書館西側配置

### 1階配置図

- 西側に地域図書館を配置し、特別教室を施設の顔として1階に配置し、普通教室を2階に配置
- 天文台通り側からみると、登録利用者→児童・生徒→一般利用者がエントランスが配置

- 見通しのさく明るい地域の散歩コース
- 読書スペースやベンチ、屋外作品展示、地域で利用できる小さなスペース
- 沿道にて生物や植栽等
- 夜間照明

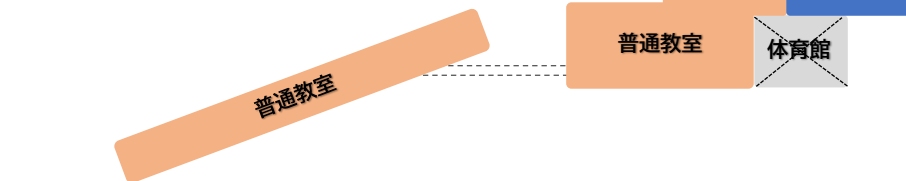
### 緑地保全エリア

- 子どもとともにつくる里山
- 学校と地域で育てる学校農園
- 多様な地域利用が可能な広場
- 防災やモノづくり等に日常から触れられる場づくり

### 第七中エリア



### 2階配置図



### 3階配置図



- 児童生徒の昇降口
- 管理諸室
- 普通教室
- 特別教室等
- 地域図書館等
- 地域利用できる小さなスペース
- 主な通学動線(敷地内通路等)
- 児童生徒の動線
- 登録利用者の動線
- 一般利用者の動線
- フェンス等
- 廊下・渡り廊下



## 8 地域と児童動線におけるセキュリティラインの解決事例

### 事例1 安平町立早来学園（北海道）

ポイント



- ①児童生徒の玄関と図書館等の玄関を分けている
- ②エリアを専用エリア・共用エリア・開放エリアに分けて運用
- ③共用エリアへの動線は、児童は建物側から、地域利用は開放エリア側で分離
- ④また、入室には顔認証が必要

凡例

- 専用エリア
- 共用エリア
- 開放エリア



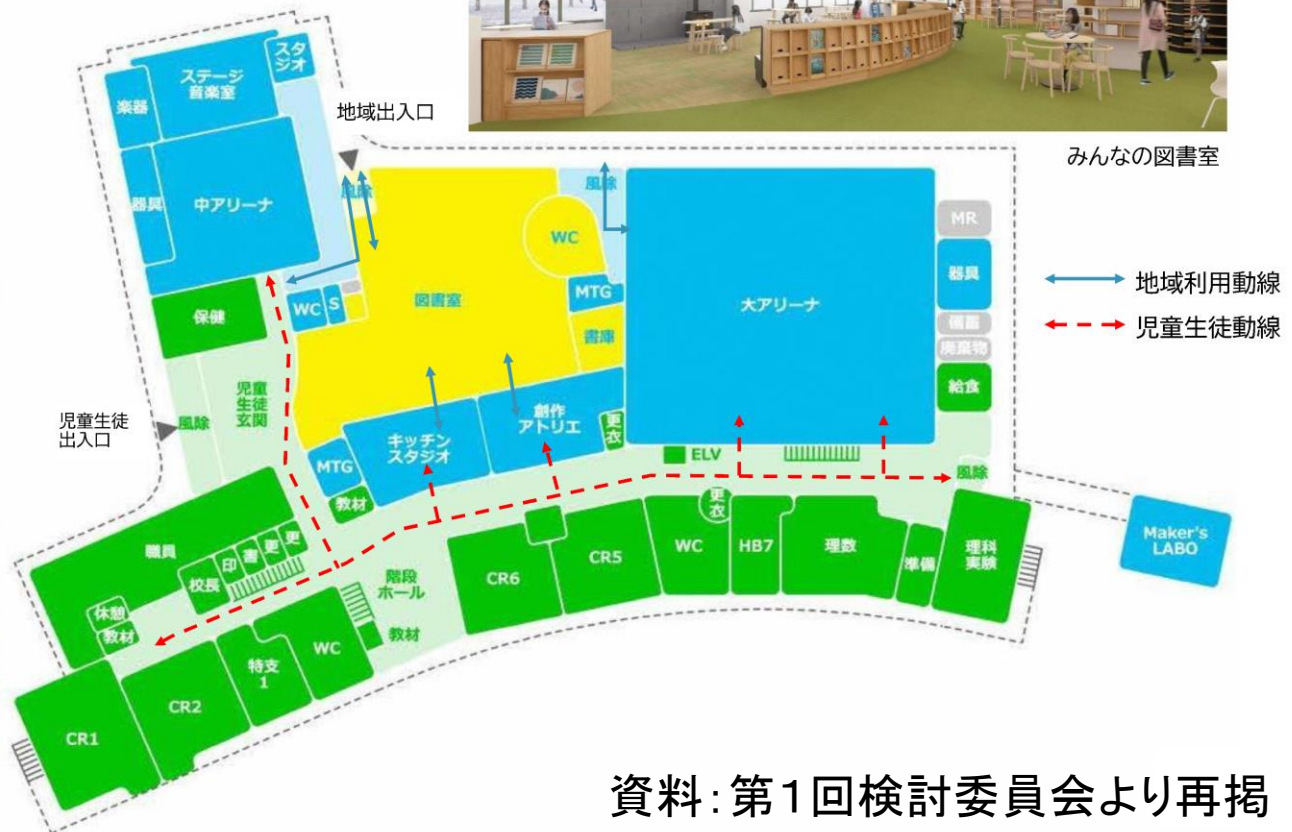
児童生徒玄関から図書室を望む



図書室からキッチンスタジオ



みんなの図書室





## 8 地域と児童動線におけるセキュリティラインの解決事例

### 事例2 和光市立下新倉小学校

ポイント



- ①児童生徒の玄関と図書館等の玄関は隣同士に配置。
- ②業務員前を通過し、各施設へアクセス。
- ③また、地域開放の特別教室の動線と児童の動線は鍵の施錠により、分離。
- ④地域開放の特別教室の鍵受け渡しは、業務員にて対応。



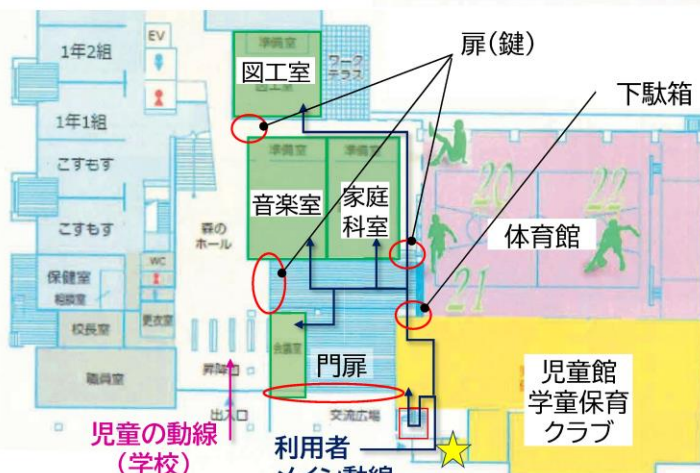
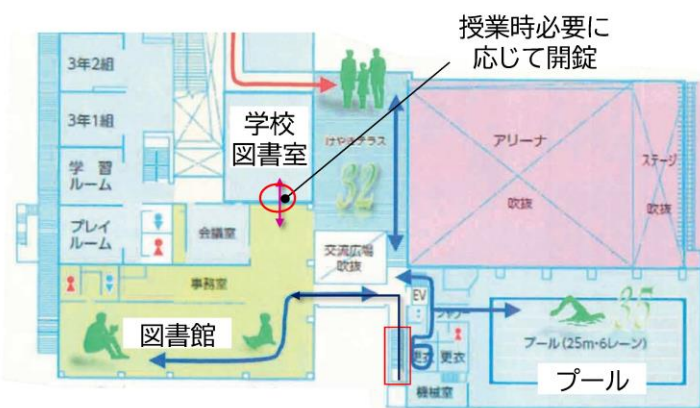
公共施設のエンタランス



1F音楽室・家庭科室前のテラス



1F音楽室



図面出典:市提供図面を加工作成

業務員  
(鍵受け渡し)



2F図書館入口



2F図書館分館



学校図書館と図書館は  
ガラスで隣接する

資料:  
第1回検討委  
員会より再掲

# 8 地域と児童動線におけるセキュリティラインの解決事例

## 事例3 志木市立志木小学校

ポイント



- ①児童生徒の玄関と図書館等の玄関は立体的に分離。
- ②図書館の玄関前には警備員が常駐&防犯カメラで監視。
- ③館内は入館証が必要。
- ④特別教室の地域開放は図書館側(遊学館)で対応し、ゾーンでまとまっている。



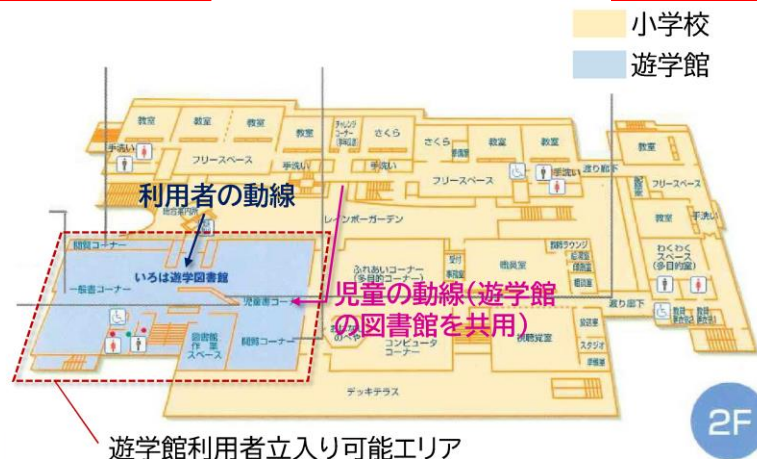
オープン教室・可動式ロッカー



ブリッジ(先生が扉を開閉)



2階レインボーガーデン



ホールA・B(遊学館)



登録団体の荷物置きスペース



立看板

資料:  
第1回検討委  
員会より再掲

図面出典:いろは遊学館パンフレット掲載図面を加工作成



## 9 ワークシートの使い方

## ワークシート3 配置案（ゾーニング）への意見交換

	イメージ A：地域図書館東側配置	イメージ B：地域図書館中央配置	イメージ C：地域図書館西側配置
ゾーニング イメージ			
良いところ			
課題・懸念点等			
その他			

## ワークシート3 配置案（ゾーニング）への意見交換

	イメージ A：地域図書館東側配置	イメージ B：地域図書館中央配置	イメージ C：地域図書館西側配置
ゾーニング イメージ			
良いところ	<p><b>記入例</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子ども達が楽しく、学校生活を送れそう</li> <li>地域図書館が誰もが利用しやすいそう</li> <li>図書館と特別教室を一体的に活用した地域イベントができそう</li> <li>緑地保全エリアと一体的な利用がしやすく、日常的な利用がイメージできる</li> <li>災害時に防災拠点として機能しやすいそう</li> </ul>		
課題・懸念点等	<p><b>記入例</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもと地域の動線が気になる</li> <li>管理人の配置に工夫が必要そう</li> <li>グラウンドまで遠いため、昼休みに遊べる校内広場が必要そう</li> <li>地域図書館が遠く、バスや車を利用して日常的にアクセスするには不便</li> </ul>		
その他			

## グループワークの際に、 守っていただきたい『3つのルール』

【ルール1】 他の人の意見を聞くこと

【ルール2】 他の人の意見を否定しないこと

【ルール3】 1人で長く話しすぎないこと

**グループワークをはじめます！**

**（その前に、各班の発表者を指名します）**

## グループワーク①

まずは、**個人ワーク**を行います。  
**5～10分間**で、それぞれが思う  
**キーワードを付箋**にたくさん書いてみま  
しょう！



## グループワーク②

**グループワークへ移行します。**  
**一人3分程度**で書いた付箋を説明し、  
**ワークシートへ貼り付け**ましょう！

## グループワーク③

15分間のグループワークです。  
他の人の意見を聞いて、  
追加したい付箋があれば足しましょう。  
また、班の発表に向け、  
付箋をグルーピングしてみましょう。

**全体発表へ移行します！**